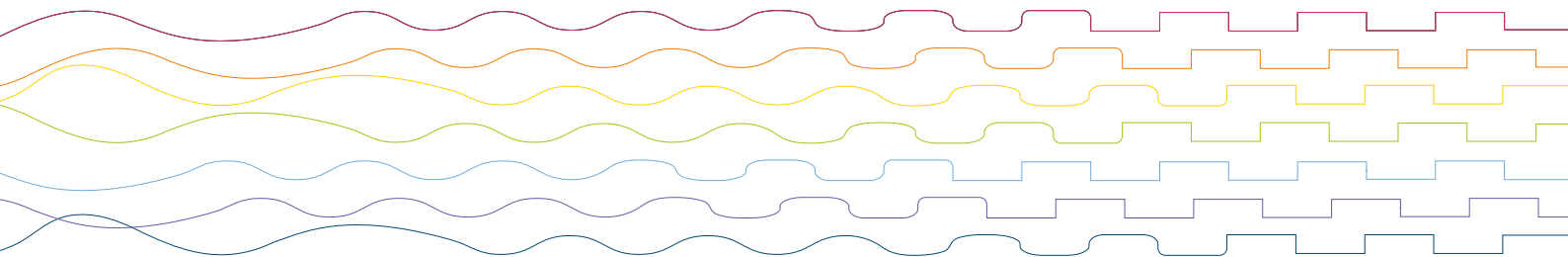


CSR Report 2012

2012 Communication on Progress



コンテンツ

- 03 トップメッセージ
- 04 シナノケンシのCSR取り組み全体図
- 06 組織統治・公正な事業慣行
- 09 製品での社会貢献（消費者課題）
- 10 環境
- 11 コミュニティへの参画
- 12 労働慣行
- 13 人権

国連グローバル・コンパクトとは

2000年に国連で制定された、人権の保護、不当な労働の排除、環境への対応、腐敗の防止に関わるCSRの基本原則10項目（＝国連GC10原則）に賛同する企業トップ自らのコミットメントのもとに、その実現に向けて努力を継続し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加する自発的な取り組みです。

基本原則 10 項目

- | | | |
|--------|-------|--------------------------------|
| 【人権】 | 原則 1 | ： 国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重する。 |
| | 原則 2 | ： 自らが人権侵害に加担しないよう確保する。 |
| 【労働基準】 | 原則 3 | ： 組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持する。 |
| | 原則 4 | ： あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持する。 |
| | 原則 5 | ： 児童労働の実効的な廃止を支持する。 |
| | 原則 6 | ： 雇用と職業における差別の撤廃を支持する。 |
| 【環境】 | 原則 7 | ： 環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持する。 |
| | 原則 8 | ： 環境に関するより大きな責任を率先して引き受ける。 |
| | 原則 9 | ： 環境に優しい技術の開発と普及を奨励する。 |
| 【腐敗防止】 | 原則 10 | ： 強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組む。 |



トップメッセージ

(Statement of continued support by the Chief Executive Officer)

シナノケンシ株式会社では、今後進む国際化（グローバル化）と、それに伴うグループ組織の拡大化を考慮し、1984年に効率的な事業運営と組織統制を目的に企業理念である「目標と理念」と、社員の行動基準である「社員心得」を制定しました。特に社員の行動基準として「誠実・公正」「信頼」を当社として伝え続けるべき大切な行動・意識としたことは、現在の「企業の社会的責任（CSR）」に通じるところがあると考えております。

2010年には、当社を取り巻く様々な環境変化を考慮し、これらを見直し「シナノケンシの目標」、「社員心得」として新たな企業方針を制定しました。

また2011年度は、これら企業方針を当社のステークホルダーの皆さまに明確に表明し、当社の企業活動内で活用するために、「グループ行動規範」、「コンプライアンスの手引き」、および「グローバル調達基本方針」を制定いたしました。

国連グローバル・コンパクトの参加企業として、GC10原則を支持し、企業の社会的責任を果たし、グローバル社会の要請に応えて参りたいと考えます。

代表取締役社長 金子 元昭

CSR 方針

私たちは「シナノケンシの目標」に基づき、誠実な行動と公正な判断で、事業活動を通して社会に貢献し、信頼されるグローバル企業を目指します。

2011年3月11日 制定

代表取締役社長 金子 元昭

シナノケンシ株式会社 代表取締役社長

金子 元昭



シナノケンシのCSR取り組み全体図

コミュニティへの参画

省エネパトロール隊参加

出前授業

絹糸紡績資料館

会社見学

地域清掃ボランティア

献血

長野県環境保全協会活動

子育て応援Webページ（NPOパレットと共同）

消費者課題

個人情報保護規程

省エネ製品の開発・販売

設計基準・製品安全基準

広告宣伝規程

ISO9001/TS16949認証取得^{*2}

プレクストーク・補聴器の開発・販売

組織

シナノケンシの目標

シナノケンシグループ
行動規範

調達基本方針

人権

社員相談室開設

くるみんマーク認定^{*1}
(2008年)

障がい者雇用の促進

労働組合の結成

育児休業制度・介護休業制度

NPO（パレット）と連携 素敵なパパ講座

ファミリーフレンドリー企業受賞
(2008年)

セクシュアルハラスメントに関する規程
(1999年～)



C S R 方針に基づき、各項目についてC S R活動を推進しています。

統治

社員心得

CSR方針

公正な事業慣行

貿易管理規程

公益通報者保護規程

下請法の遵守及び教育

職務発明取扱規程

情報セキュリティ対策規程

コンプライアンス推進活動

労働慣行

安全衛生委員会設置

職場別安全競争

安全衛生パトロール

メンタルヘルス講習

ヒヤリハット提案活動

作業環境測定

リスクアセスメント活動

ワークライフバランス委員会

環境

ISO14001の認証取得^{*3}

ゼロエミッション工場

環境標語の募集

CO₂削減

社内植樹活動

RoHS・REACH対応等有害物質削減活動

社員食堂（地産地消メニュー）

オゾン層破壊物質の非使用



*2



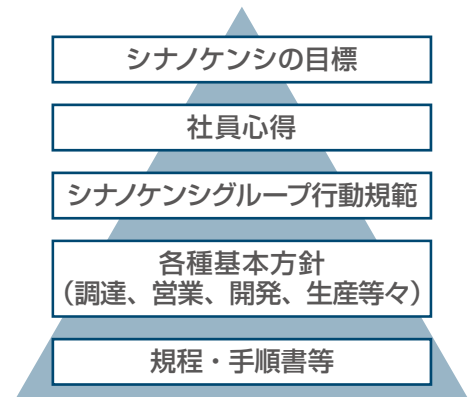
*3

2011 年度活動トピックス

組織統治・公正な事業慣行

シナノケンシでは、2010年に経営の基本方針として「シナノケンシの目標」とその目標を達成するために5項目の「社員心得」を定めました。これらを達成し社会から信頼され続ける企業であるために2011年度は下記の各方針を制定し、社内およびステークホルダーの方々に浸透を図るなど、CSRの根幹となる規範・方針等の整備を実施いたしました。

- ① グループ行動規範
- ② コンプライアンスの手引き
- ③ グローバル調達基本方針



経営理念体系図

シナノケンシの目標

- ・ シナノケンシは、常に顧客にとってかけがえのない魅力に満ちた会社であることを目標とします。
- ・ シナノケンシの真の資産は人であり、社員にとっての会社の魅力を大きくすることを目標とします。
- ・ シナノケンシは、人とのつながりを大切にし、事業活動を通じて未来を動かす会社であることを目標とします。

(2010 年 9 月 改訂)

社員心得

- ・ 誠実な行動と公正な判断で、信頼を高めましょう。
- ・ お客様の喜びは自分の喜び。自ら考え、自ら行動しましょう。
- ・ 「技」を磨き、世界で成長しましょう。
- ・ 変化を先取りし、素早く行動しましょう。
- ・ 常に全社的な視点とチームワークを忘れず、執念で勝利をつかみましょう。

(2010 年 9 月改訂)

① グループ行動規範

シナノケンシグループは、目標の達成に向けて役員及び従業員が「行動規範」を遵守することが、社会から信頼され続ける企業であると考え、当社の CSR 活動全般に亘った内容として本規範を制定し、全社員への浸透をはかりました。

I. 人権・労働

1. 強制的な労働の禁止
2. 非人道的扱いの禁止
3. 児童労働の禁止
4. 差別の禁止
5. 適切な賃金
6. 労働時間
7. 従業員の団結権

II. 安全衛生

1. 機械装置の安全対策
2. 職場の安全
3. 職場の衛生
4. 労働災害・労働疾病
5. 緊急時の対応
6. 身体的負荷のかかる作業への配慮
7. 従業員の生活施設の安全衛生
8. 従業員の健康管理

III. 環境

1. 製品・サービスの開発
2. 製品に含有する化学物質の管理
3. 製造工程で用いる化学物質の管理
4. 環境マネジメントシステム
5. 環境への影響の最小化（排水・汚泥・排気など）
6. 環境許可証 / 行政認可
7. 環境負荷低減に関する取り組み

IV. 公正取引・倫理

1. 汚職・賄賂などの禁止
2. 優越的地位の濫用の禁止
3. 不適切な利益供与及び受領の禁止
4. 競争制限的行為の禁止
5. 正確な製品・サービス情報の提供
6. 知的財産の尊重
7. 適切な貿易管理
8. 情報公開
9. 不正行為の予防・早期発見

V. 品質・安全性

1. 品質・安全性の確保
2. 品質マネジメントシステム

VI. 情報セキュリティ

1. コンピュータ・ネットワーク脅威に対する防御
2. 個人情報の漏洩防止
3. 機密情報の漏洩防止

VII. 社会貢献

1. 地域・社会への貢献

② コンプライアンスの手引き

社員がコンプライアンスに対する会社の取り組みや社員ひとり一人の日ごろの業務においてコンプライアンスを実践できるように「コンプライアンスの手引き」を作成しました。

また、管理職を対象としたコンプライアンス集合研修、全社員を対象としたコンプライアンスEラーニング、社内報でコンプライアンスについてのコラムを定期的に連載するなどを実施しました。

『主な内容』

- I. シナノケンシグループが大切にしたいもの
- II. シナノケンシグループのコンプライアンス
- III. 主な法令・社内規程と主管部門
- IV. コンプライアンス相談窓口（ヘルプライン）
- V. コンプライアンスの手引きについて



③ グローバル調達基本方針

シナノケンシグループは、グローバル社会の責任ある構成員として、グローバル社会の持続的発展に貢献する調達活動をめざすために、「グローバル調達方針」を制定し、社員への浸透と各種サプライヤー様へのご協力をお願いしました。

1. 法令等の遵守

関連するすべての法令および社会規範を遵守した調達活動を推進します。

2. 公平・公正な取引

お取引先の選定は、公平な機会の提供と、競争原理に基づく合理的なプロセスにより公正に行います。

3. パートナーシップの構築

お取引先との相互理解と信頼関係を大切にし、より良いパートナーシップの構築に努めます。

4. 環境への配慮

地球環境の保全が企業の社会的責任であると自覚し、環境に十分配慮した調達活動を推進します。

製品での社会貢献（消費者課題）

デジタル録音図書読書機 「PLEXTALK（プレクストーク）」

厚生省の呼びかけに応じて視覚障がい者向けのCD読書機の開発に取り組んだ当社と、初期DAISYを試作したスウェーデン国立点字録音図書館が、1985年に国際的な共同研究開発を始めました。こうして、デジタル録音図書の国際基準DAISY（Digital Accessible Information System）が生まれました。それから十数年にわたって、世界の視覚障がい者や識字障がい者の皆様のQOL（Quality of Life）向上をサポートする取り組みとして、ユーザビリティを追及したDAISY読書機「PLEXTALK」の開発・提供を続けています。



デージー・プレクストーク パートナーミーティングの様子



デジタル録音図書読書機「PLEXTALK」

補聴器 「美聴」

当社は、軽度～中等度難聴の方に適した聞こえを補う機器として、「やさしい、かるい、ききやすい」をコンセプトとした補聴器「美聴」を通じて、おもに高齢者の皆様のQOL（Quality of Life）向上に貢献しています。加齢による難聴の中でも特に聞き取りにくい音域をリアルタイムに強調して人の声を明瞭に聞こえやすくする「くっきりボイス」機能や、耳穴の位置で音を拾う「耳もとマイク」で心地良い音、自然な音のきこえをお届けします。



補聴器「美聴」

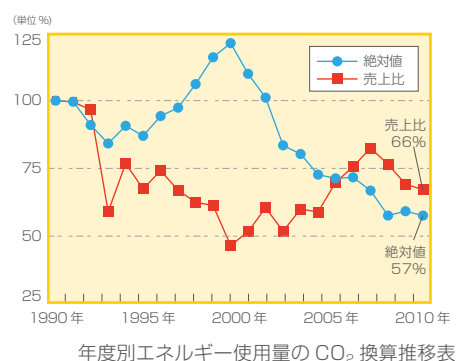
環境

CO₂ 排出量削減① ー地球温暖化防止に向けてー

地球温暖化防止対策として当社も事業所からのCO₂排出量削減に積極的に取り組んでいます。

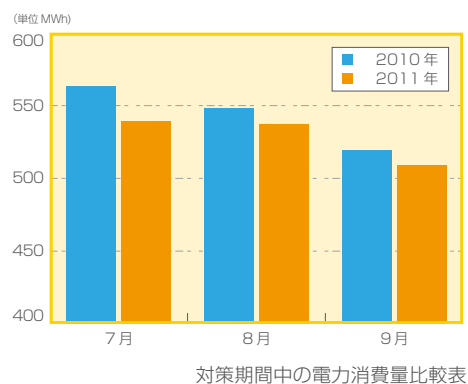
設備（ハード）面では、ガスボイラーの導入、半田槽の断熱、インバーターの設置、屋根の塗装色変更等の対策を実施。

運用（ソフト）面では、コンプレッサーの圧力管理、空調の温度管理、パソコンの画面設定等の対策を実施しています。



CO₂ 排出量削減② ー原子力発電所運転停止に伴う夏季節電対策ー

2011年度は原子力発電所の運転停止に伴う電力不足懸念がありました。特に7月～9月の夏の電力供給に対しては電力会社からの要請もありましたので、全社を挙げて節電対策を実施しました。これによりこの期間の電力は昨年度に比べて4.8%の削減、重油を含めたエネルギーでは約8%の節約を実施することができました。



高効率小型モータ（省電力） ー当社製品による環境負荷低減へー

私たちの工場で開発・生産・販売しているモータは、よりエネルギー消費が少ない省エネタイプのモータを開発し、お客様に提案をしています。

モータによる消費電力削減を指標とし、販売の拡大を省エネモータの普及を促進しております。



DC ブラシレスモータ

コミュニティへの参画

東日本大震災への対応

2011年3月11日に発生をしました東日本大震災では、当社工場では直接的な被害はありませんでしたが、緊急対策本部を設置し、取引企業様の状況などの情報収集を実施いたしました。

また、実に多くの方々が被災されましたので、会社として義援金、社員・組合としての義援金／支援物資を関係機関を通して現地に送りました。



支援物資

絹糸紡績資料館

ノコギリ屋根と呼ばれ自然採光を取り入れた、かつての絹紡工場を改装した絹糸紡績資料館は、地域の産業と文化を伝える「産業遺産」として認定され、社内の保存資料のほか、日本絹紡協会の保存資料を全て引き継ぎ、絹糸紡績で明治・大正・明治の時代に生きた産業人の心意気や、糸の町として栄えた地域の歴史を伝える貴重な歴史を、写真・製品・映像・パネルで紹介しています。

本社構内にある同館には、信州のシルク文化や歴史を紹介するスポットのひとつとして、県内外の各地から多くの来場者が訪れています。



絹糸紡績資料館

清掃ボランティア

本社工場周辺では、毎年、周辺地域の清掃活動、および地域清掃イベントなどにも参加し、地域の皆様とのコミュニケーションをはかっています。



清掃ボランティアの様子

労働慣行

ワークライフバランス

当社では2008年から『仕事と生活の調和を通じて、元気な企業風土作りを推進します』をスローガンに、労働時間の適正化、有給休暇の取得促進、多様な働き方を促進する各種施策の推進を実施してきました。

また、同時にワークライフバランス委員会を設置し、継続的に仕事と生活の調和の改善をはかっております。



ワークライフバランス委員会の様子

社員食堂

本社工場には社員食堂を完備しており、社員に作り立てで温かい食事をリーズナブルな価格で提供をしております。近年では、地元の食材を使用した地産地消を積極的に進めております。



社員食堂の様子

人権

障がい者雇用の促進

障がい者の高い定着率の実現も社会的責任であると位置づける当社は、障がい者にとって働きやすい職場環境作りを目指し、障がい者の雇用促進に努めています。2012年2月末時点での障がい者雇用率は2.16%となっています。

